

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束委員会の委員を中心に身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、利用者の安全面を考慮し家族様からの要望でベッド柵の数を増やすこともある。安全面を考慮しつつ利用者の自由を妨げない方法を模索。	臥床時のベッド柵の増設置については、職員がつきっきりでの介護ではない為、危険が懸念される部分があるものの、柵の使用時間の短縮を試みる。	夜間のベッド柵使用に関しては危険が予測されるため、利用者の安全性を考え、現状継続ではあるが、昼間、体調状態も考慮しつつ車イス等にて離床して頂き柵の使用時間の短縮を試みる。	6ヶ月
2	2 (2)	地域住民との交流や大きな行事等ではボランティアさんの参加はあるものの、定期的なボランティアさんの介入はない。	定期的なボランティアさんの訪問の受け入れる機会を設けて行く。	まず情報収集をし、訪問可能なボランティアさんに来ていただけるようにする。	6ヶ月
3	45 (17)	身体的、体調的な理由で、シャワー浴のみの利用者が居る。	浴槽に入り、精神的、肉体的にもリラックスして頂ける様、また冬季に向け浴槽につかる楽しみを利用者が持てるようにする。	現時点での設備ではかなり難しい部分があり相応の設備も考えなければいけない。すぐに取り組めるものとして、安全面を考慮しての対応を模索していく。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。